

全国学力・学習状況調査の結果を生かし指導の充実を！

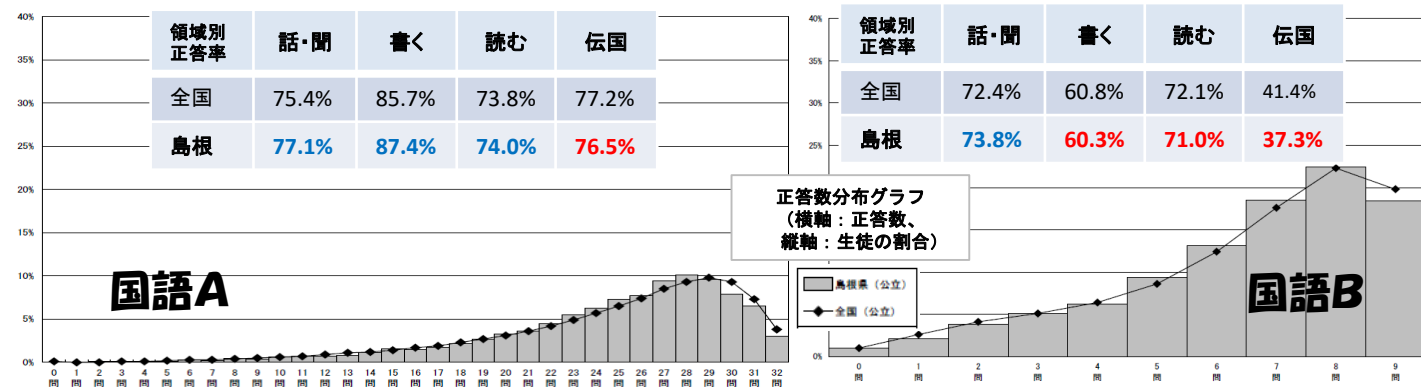
【中学校国語】

全国学力・学習状況調査の結果を生かした授業づくりを行ううえでのポイントを、「授業アイデア例」(国立教育政策研究所刊)等を基にまとめました。本県・自校の結果から児童生徒の強みと課題を把握共有し、付けたい力を明確にした授業を展開しましょう。

平成30年1月 島根県教育センター

平成29年度全国学力・学習状況調査における本県の傾向

高正答率者の割合が昨年度より若干下回るものの、全体的に全国平均正答率とほぼ同じである。



課題1 (伝国)

語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと
事象や行為などを表す多様な語句についての理解

国語A 9 問題 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

設問三イ 適切な語句を選択する

設問五 話し合いの記録として適切な言葉を考える

平均正答率 全国61.4%
島根56.7%

平均正答率 全国35.8%
島根31.8%

三 最も適切な言葉を選ぼう。
イ よい結果を早く出したときは、
がよい。
① 一事が万事
② 論より証拠
③ 急がば回れ
④ 光陰矢の如し
といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。

学習指導に当たって

「ことわざや慣用語」の学習では、次のような指導が効果的です。
○各教科等の学習や読書活動などで出合った言葉を取り上げ、意味を確認するとともに、具体的な使用例を考える指導
○語源などを確かめたり、似た意味や反対の意味の言葉を整理したりするような指導
また、教師が意図的にことわざや慣用語などを用いて話したり、掲示物や配布物に取り入れたりするなど、言語環境を整えることも大切です。

授業アイデア例(平成29年度 P4)

「自分が使ってみたい語句についてスピーチをする」
～多様な語句の意味を理解し、場面に応じて適切に使う～

第1時 (授業前の生徒の準備) 学校生活の中やテレビの報道、新聞などから、「自分が使ってみたい語句」をノートに書き留めておく。

① ノートに書き留めてある「自分が使ってみたい語句」の中から、他の人に紹介する語句を決める。

自分が使ってみたい語句の一つを取り上げ、スピーチをして紹介しよう。取り上げる語句については、辞書などを使って意味を確認することができると語句がどうかを考えて選ぼう。また、実際に語句を使う場面や具体的な使い方も紹介できるようにしよう。

② どのような意味をもつ語句なのかを調べ、どのような場面ですらうかに応じて、似た意味をもつ語句などについても調べる。

「快挙」という語句を取り上げよう。1組が合コンクールで優勝したことを表彰するときに使う。ほかにも、似たような意味の語句がいろいろあるので、調べてみる必要がある。

③ 語句を使う場面と合っているかどうかをペアまたはグループで検討する。

似た意味をもつ語句でも、場面や状況によってどの語句が適切であるかを検討することが大切です。

「快挙」は、「立派な仕事」という意味だね。合コンクールでの優勝も立派だね、「快挙」は少し言い過ぎではないかな。

「快挙」は、「とても素晴らしいこと」を褒めるのに使う。周りの予想に反しての優勝だから使えないことはないけど、勝って心が晴れたことと考えると、「快挙」の方が適切だと思う。

第2時 使う場面や具体的な使いかたとともに語句を紹介する。

(スピーチの例)

私が紹介する語句は、新聞記事の中で見た「快挙」という語句です。「快挙」は「胸がすくような素晴らしいこと」を褒める時に使います。「おめでとう」や「おめでとう」が合コンクールで優勝を成し遂げた」というように使います。「優勝しました」と表現するよりも、勝って心が晴れたことと考えると「快挙」が適切だと思います。さようなら、特別招待で合コンクールについて取り上げる記事を書いていきたいと思います。実際に使ってみよう。

正答例

【話し合いの記録】

校内でのあいさつを生活するための取り組み		結果
活動内容		
1 標語やポスターの募集と掲示を行う。	可決	
2 登校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。		
3 下校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	否決	

五次は、校内でのあいさつを生活するための取り組みについての話し合いの記録です。活動内容の2については、今回は結論がでなかったため、一度話し合うことになりました。□に当てはまる言葉を選んでください。

再検討
保留
未決定
未決

誤答例

事象や行為などを表す多様な語句について、言葉として知ってはいても、場面や状況に応じて適切に使い分けられることができていないと考えられる。

課題2 (書く・読む・伝国)

本や文章などの表現の仕方について捉え、 自分の考えを書くこと

国語B1問題

文学的な文章を読む

設問3

比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く。

学習指導に当たって

文章を読んで感じたことや考えたことなどを交流する
学習活動を充実させることが求められます。

その際、自分の考えの根拠となる表現を示した上で、
感じたことや考えたことを具体的に説明するように指導
する

交流によって広がったり深まったりした自分の考えを、
最後に書いてまとめることでより明確化できるように指
導する

また、次のような指導の工夫も効果的です。

○左の設問のように、比喩や反復などの表現技法に
ついての知識を生かすなど、既習事項を踏まえた
学習。

○新聞やインターネットの書評、本のポップなどを取
り上げ、そこに書かれたものの見方や考え方をと
対比させて新しい考え方を知ったり、自分の考えを
再構築したりする学習。

授業アイデア例(平成29年度 P5、6)

「自分が使っていた語句についてスピーチをする」

～多様な語句の意味を理解し、場面に応じて適切に使う～

「読んだ本の魅力を紹介する」

～文章の表現の工夫について、自分の考えを分かりやすく伝える～

文章の表現の工夫について、自分の考えを書くことに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、視点を定めて本を読み、読んだ本の魅力を紹介する学習を提案します。読書案内や新聞の書評などを基にした選んだ本や、比喩を用いた表現が多く含まれる本について、それぞれの視点に沿って本を読み、感じたことや考えたことを交流したり、読んだ本の魅力を紹介する文章を書いたりすることで、文章の表現の工夫について自分の考えをもち、人に分かりやすく伝える力を身に付けることを目指します。

課題の見られた問題の概要と結果

B1Ⅰ 文学的な文章を読む(「スコールNo.4」)

B1Ⅲ 正答率 42.3% 比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く。

学習指導要領における領域・内容

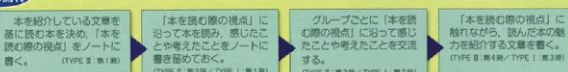
(第1学年) B 書くこと ウ

(第1学年) C 読むこと エ

(第1学年) 伝国(イ) オ

授業アイデア例

学習の流れ



(言語活動) 読んだ本の魅力を紹介する文章を書く。

本授業アイデア例 活用の方

●本アイデア例は二つのTYPEで示している。TYPEⅡ(数時間わたる学習過程の中で、知識・技能の習得と活用を図る事例)で授業を行う際には、本アイデア例の書評から、TYPEⅠ(調査問題の解答類型等からつまずきの状況を把握し、その解決を図る事例)で授業を行う際には、本アイデア例P.6からの学習の流れを参考にするとよい。

教材例

- (TYPEⅡで授業をする場合) 教科書に載っている読書案内や新聞の書評及びそれらを基にした選んだ本など
- (TYPEⅠで授業をする場合) 宮下奈都「スコールNo.4」(平成29年度全国学力・学習状況調査[中学校]国語B1Ⅲ)など

TYPEⅡ:第1時

- 学習の見通しをもち、教科書に載っている読書案内や新聞の書評などの本を紹介している複数の文章を見て、興味をもった箇所各自で線を引く。
- 興味をもった箇所についてグループで交流する。

教師

本を紹介している文章のどの箇所に、どのような興味をもったのかを明確にして交流しましょう。

「本を紹介している文章」を基にした交流の例

「吾輩は猫である」
夏目 漱石
名前はまだ無い。

捨て猫である「吾輩」は中学校教師に拾われ、その家に住み着きます。そこで見聞した物語が「吾輩」によって語られます。鋭い風刺、直切のよい文体など、多くの読者を魅了するこの作品は、時代を超えて読み継がれています。

私は、夏目漱石の「吾輩は猫である」を紹介している文章の「直切のよい文体」という箇所に興味をもった。今までに読んだ本の文体との違いを確かめたい。

Aさん

私は「鋭い風刺」という箇所にも気になる。猫の目を通して描かれる人間社会はどのようなものかな。

Bさん

- グループごとに読む本を一冊決め、興味をもった箇所を基にして「本を読む際の視点」をノートに書く。

教師

「本を読む際の視点」をノートに書きましょう。全員共通の視点は「表現の工夫」です。さらに、各自で興味をもったことを基にした視点も書きましょう。例えば、Bさんの視点は「鋭い風刺」が指している内容」ですね。Aさんのように「表現の工夫」について興味をもった人は、全員共通の視点だけでも構いません。

【本の紹介カード】

本1部

(本文省略)

自分らしくって
何だろう……

古道具屋を営む家に生まれた仲のよい三姉妹。でも、麻子(私)は、自由奔放な妹の七葉との違いをいつも感じています。そのような中で少しずつ自分らしさを見付けていく麻子の成長の物語です。



比喩を用いた表現も
素敵です!

1

青豆は、学校図書用紙(国語)の表紙に「『スコールNo.4』を読んで、宮下奈都の本の魅力を紹介する文章を書く」という課題をもらって、宮下奈都の「スコールNo.4」を読んで、感じたことや考えたことを具体的に説明する文章を書いた。青豆は、学校図書用紙(国語)の表紙に「『スコールNo.4』を読んで、宮下奈都の本の魅力を紹介する文章を書く」という課題をもらって、宮下奈都の「スコールNo.4」を読んで、感じたことや考えたことを具体的に説明する文章を書いた。

平均正答率 全国41.4%
島根37.3%

TYPEⅡ:第2時

TYPEⅠ:第1時

(TYPEⅠ) 授業前の教師の準備

B1Ⅲについての生徒の解答の状況を「解答類型」(平成29年度 報告書 中学校 国語)に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

●「解答類型3」の生徒

比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して感じたことや考えたことを具体的に書いているが、取り上げた表現について、「誰(何)」の、「どのような」様子なのかを明確にして書くことができていない。

TYPEⅠで授業をする場合のポイント

- 教材として、宮下奈都「スコールNo.4」(平成29年度全国学力・学習状況調査[中学校]国語B1Ⅲ)など、比喩を用いた表現が多く含まれる本を提示し、「本を読む際の視点」として、「比喩を用いた表現」を示す。実態に応じて、全員で同じ場面を読んだり、グループごとに別の場面や本を読んだりすることが考えられる。

- 「本を読む際の視点」に沿って本を読み、感じたことや考えたことをノートに書き留めておく。

※ 本を読む時間を十分に確保するように留意する。

TYPEⅡ:第3時

TYPEⅠ:第2時

- 「本を読む際の視点」に沿って感じたことや考えたことをグループで交流する。

交流する際の留意点

- 考えの根拠となる表現を文章中から引用しながら述べる。
- 引用した表現について、どのように読み取ったのかを分かるように説明する。特に、比喩を用いた表現については、「誰(何)」の、「どのような」様子なのかを明確にする。

【宮下奈都「スコールNo.4」を読んだグループの交流の例】



(TYPEⅠ・Ⅱの発言例) 比喩を用いた表現で特に印象に残ったのは、「興奮のあまり黒い目が濡れたように光って怖いくらいだった。」という部分で、これから、自分の思い付きに心を震わせている七葉の様子が分かったよ。麻子は、七葉の自由奔放さに戸惑っているのではないかな。

(TYPEⅢの発言例) 私は「麻子の心の動き」という視点で読んだよ。文章中に、「負けていない。けど、勝てはしない。」という表現があり、麻子は七葉の自由奔放さに引け目を感じている気がしたな。また、このような表現が作品全体の始めの方にあることで、麻子の心の動きに着目しながらその後の話を読むことができて、話の展開が工夫されていると感じたな。



- 交流した内容を踏まえ、新たに感じたことや考えたことを各自でノートに書く。

(TYPEⅠ) 第2時終了後の教師の分析

- 第2時終了後に、ノートの記述内容を分析する。
- 授業前に把握した「解答類型3」に該当する生徒が、次のような内容を記述することができているかどうかを見る。
- 比喩を用いた表現を取り上げ、「誰(何)」の、「どのような」様子なのかを明確にした上で、感じたことや考えたことを具体的に書いている。
- 第2時終了後に十分だった生徒については、第3時の本の魅力を紹介する文章を書く様子を観察し、必要に応じて指導する。

TYPEⅡ:第4時

TYPEⅠ:第3時

- 前時のノートを参考にして、「本を読む際の視点」について触れながら、自分が読んだ本の魅力を紹介する100～200字程度の文章を書く。